



with Quincy Jones

音楽遺産を公開...

福田一郎のかけがえのない

音楽評論・DJの巨人

日本の音楽業界を育てた

福田一郎 コレクション 展

FUKUDA HOUSE

2009年11月7日(土)～25日(水)

金沢工業大学ライブラリーセンター1F展示室

月-土 9:00～17:00 日・祝10:00～16:00

主催:金沢工業大学ポピュラー・ミュージック・コレクション(PMC)



with KISS



with Michael Jackson



with Eric Clapton

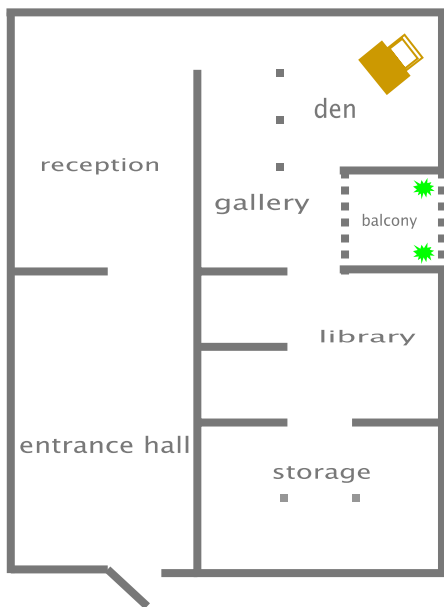


with John Denver



FUKUDA HOUSE

福田一郎コレクション展～FUKUDA HOUSEを再現



ドアを開け、玄関に足を踏み入れる。下駄箱には当然靴などが並んでいるはずだ。それともたいてい扉は閉められているものだが、そこは開いており、5段の下駄箱のうち靴があるのは1段だけ、それもありゆとりをもって何足かが居心地悪そうに並んでいる。残りの4段にはぎっしりと音楽雑誌が詰まっており、さながら資料室の趣。この主役は明らかにこの雑誌だ。中でも異彩を放つパスポートサイズのもの1つ手に取ってみた。タイトルは「JET MAGAZINE」、リリースは1953年とある。それはロックという新しい音楽が若者たちの間で今まさに爆発しようとしていた頃 - - 「EBONY」とともに米国で最もポピュラーな黒人向け雑誌だ。芸能人や政治家の記事、広告デザインが時代を感じさせる一方で新鮮に映る。思わず見入ってしまいそうな視界が次の瞬間別のものを捉えた。壁にはStevie Wonder「Talking Book」のゴールド・ディスク、その他ブラチナ・ディスクの数々。玄関が貴重な音楽資料で埋め尽くされており、ため息とともに目があちこちに泳いで視点が定まらない。玄関がこの状態ということは…もはや言うに及ばず。リビングや書斎の壁一面の棚やデスクはもちろん、音楽関係の雑誌・書籍、ちょっとした記事の切り抜きやそれらを集めたスクラップファイルなど、ありとあらゆる音楽関係の資料がうず高く積み上げられており、床が見えない。しかもその資料群のどこか1点を集中して見れば、アーティストからの直筆メッセージやサインが入ったレコードが何気なく置かれている。その光景は圧巻というほかない。この部屋(正確にはこの部屋を含めて3戸、もちろんすべて同じ状況だ)の主は生前、どこに何があるか把握していたというから驚きた。

氏の収集した音楽遺産すべての整理とデータベース化が完了いたしました。ここに福田一郎コレクションの一部を用い、音楽に魅了され、生涯、音楽を旅し続けた一人の男性、福田一郎氏の業績と人物を、氏の自宅、FUKUDA HOUSEに皆様を招待するというかたちでご紹介したいと思います。この展示会の企画と開催につきましては本学PMCの顧問である立川直樹氏にご指導、ご協力を得ています。

金沢工業大学PMC

福田 一郎(ふくだ いちろう) 1925年2月16日 - 2003年9月4日

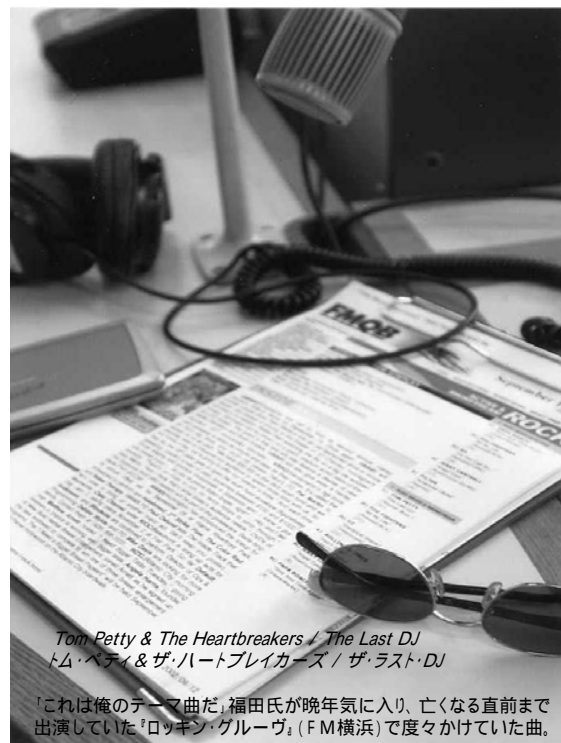
東京都江東区深川生まれ、横浜育ち、日本大学工学部機械工学科卒業。音楽評論家、洋楽評論、文化人のテレビ出演の草分け的存在。在日米軍調達本部に勤務中、モダン・ジャズと深く関わりようになり、評論・DJを始める。文章をもってジャズ、ロック、ポップスの評論・紹介にその全力を傾注、半世紀に及ぶ懸命な啓蒙活動によって、日本の大衆音楽の中に洋楽の基盤を定着させることに大きな功績を残した。また海外のミュージック・ビジネスの現状についての紹介・解説にも力を注ぎ、レコード産業界の発展に多大な役割を果たした。日本レコード大賞、有線大賞、銀座音楽祭などの審査員を務める。肝不全のため死去。享年78歳。



ICHIRO FUKUDA

*And there goes the last DJ
Who plays what he wants to play
And says what he wants to say
Hey, hey, hey
And there goes your freedom of choice
There goes the last human voice
There goes the last DJ*

最後のDJのお出ました
好きな曲をかけて言いたいことを言う
へい、へい、へい
選択の自由がある
最後に残された人間の声
最後のDJが行く



PMC(ポピュラー・ミュージック・コレクション)は金沢工業大学ライブラリーセンター3Fにあります。ロック、ジャズをはじめ、あらゆるジャンルのアナログ・レコードを中心に20万枚を所蔵しており、そのすべてが全国の方々からのご寄贈によるものです。レコードやCDを鑑賞していただくためにはボディ・ソニック(体感音響装置)を設置しており、ご自分のレコードやCDを持ち込んで聴くこともできます。PMCは本学学生にとつてのリラックスゾーンであるとともに、一般の方もご利用可能な施設です。一般の方のご利用は、ライブラリーセンター1F受付までお申し出下さい。